

令和 1 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	57
--------	----

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴				有
事務事業名	首羅山遺跡保存・活用事業					
予算科目	10 款 5 項 10 目					
予算事業名	公開活用事業費・整備事業費					
総合計画での位置づけ	町の文化を守り、育てる					
担当課	教育委員会		担当課長		森 裕子	
事業担当者	阿部 悠理		一次評価者		江上 智恵	
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	文化財保護法					
事業の対象	首羅山遺跡					
事業の目的	地域の貴重な文化遺産である首羅山遺跡の公開に向けて、参道の整備を行う。首羅山遺跡の保存・活用周知を行い地域活性化の核の一つとして位置付ける。					
実施期間	開始年度	平成 17 年度から				
	終了年度	令和 年度まで				
事業の内容	首羅山遺跡の保存活用周知を行う。 首羅山遺跡の参道を整備する。					
目的達成の指標	首羅山遺跡登山者数					
	区分年度	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3年度
	目標	人数	221	100	5000	5000
	実績	人数	218	100		
指標設定の考え方	遺跡整備を通して、地域の文化財である首羅山遺跡に対して遺跡を守る心を育てる。また、町内・町外者に地域の貴重な文化財である首羅山遺跡について周知を行う。					
事業遂行時懸案事項等	首羅山遺跡の周知・活用を今後も続けて行く必要がある。					
事業実施時懸案事項対応等	平成30年度から平成31・令和元年度にかけて登山道整備を行うが、今後の維持管理について計画的に行う必要がある。					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 1,842 円

※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目	30 年度予算	1 年度予算	2 年度予算	3 年度予算	
事務量	① 人工数	0.30	0.30	0.30	0.30
	② 人件費単価	7,350	7,555	7,137	7,137
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	2,205	2,266	2,141	2,141
事業費	直接事業費	220,258	28,245	9,152	9,152
	人件費	2,205	2,266	2,141	2,141
	合 計	222,463	30,511	11,293	11,293
財源内訳	国庫支出金	168,335	14,000	400	400
	県支出金			525	525
	地方債				
	その他				
	一般財源	54,128	16,511	10,368	10,368
合 計	222,463	30,511	11,293	11,293	

事業費計画

(千円)

区分/年度	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
目 標	220,258	28,245	9,152	9,152	10,987
実 績	203,040	38,845			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度
遺跡見学会	人	221	0		
		218			
登山会	回			6	12
参道整備(白山神社口～山頂地区)	%	10	100		
		10	100		
歴史講座	回		7	2	2
			7		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 2,275 円

※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目	30 年度決算	1 年度予算	1 年度決算	
事務量	① 人工数	0.30	0.30	0.30
	② 人件費単価	7,187	7,555	7,891
	③ 補助事業人件費		0	0
	人件費(①×②-③)	2,156	2,266	2,367
事業費	直接事業費	203,040	28,245	38,845
	人件費	2,156	2,266	2,367
	合 計	205,196	30,511	41,212
財源内訳	国庫支出金	154,393	14,000	19,770
	県支出金			1,050
	地方債		0	
	その他		0	
	一般財源	50,803	16,511	20,392
合 計	205,196	30,511	41,212	

実施備忘録

平成30年度の整備費に史跡地等購入費を追加した。

CHECK(評価)

自己評価	評価者	阿部 悠理
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	5	A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	5	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	5	A
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	5	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	A
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	5	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	5	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input checked="" type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

これまでは年に1回の公開であった首羅山遺跡が、登山道が整備されたことにより、いつでも回遊できるようになった。登山者も増加しており、関心も高くなっている。登山道整備は、首羅山遺跡の活用・周知について有効であった。歴史講座では首羅山遺跡をテーマに実施し、各回50名弱の参加があり、首羅山遺跡の周知につながり、有効であった。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

事業については、平成30年度から平成31・元年度と継続して工事を行い、参道の工事が終了した。令和2年3月28日にオープンし、オープン行事や合同の登山会は中止したものの、当日は、60名程の参加があった。登山道オープン後から、元年度中にかけては100名程の登山者数があった。登山道整備後の維持管理について計画的に行っていく必要がある。首羅山遺跡は町内だけでなく町外からも問い合わせが多く認知度が高くなっている。首羅山遺跡を今後、保存していくために、発掘調査箇所については、調査成果をまとめていく必要がある。首羅山遺跡周知活用を今後も続けていく必要がある。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価	評価者	江上 智恵
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

項目	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？	4	B
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	2	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
2. 町が実施する必要があるか？	2	B
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	4	
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input checked="" type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input checked="" type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> A重点化
<input checked="" type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了

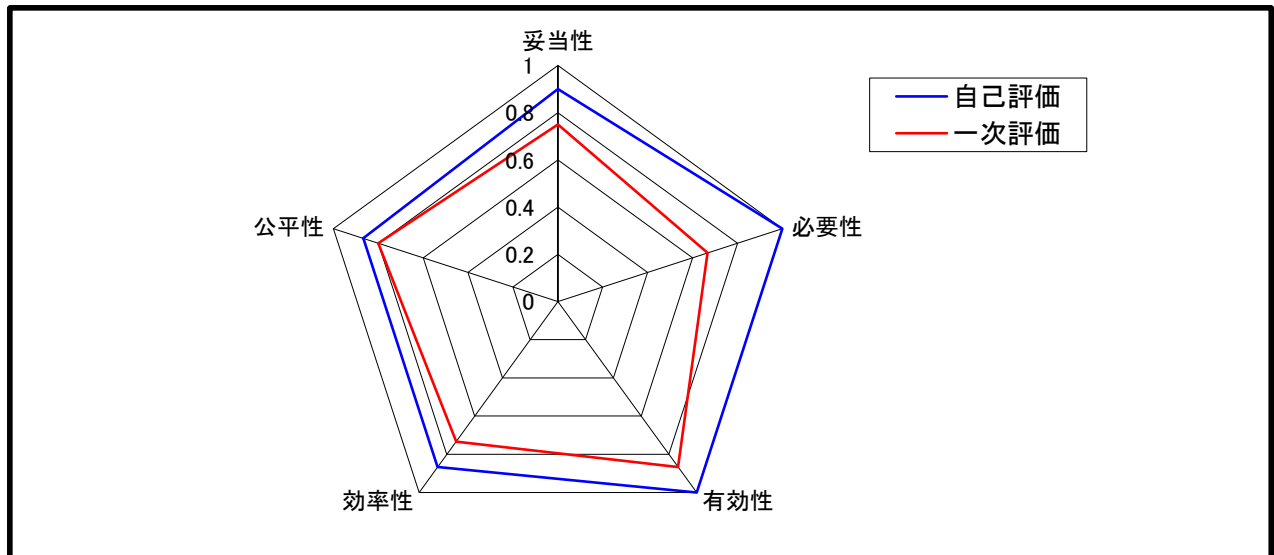


見直しの具体的内容
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

首羅山遺跡の登山道工事など予定どおりに終了している。今後は維持管理のための仕組みづくりや計画的な調査成果の発信が必要であり、担当者の努力が必要である。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

二次評価	評価者	森 裕子
------	-----	------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

登山道が整備され、一般開放により町内外の登山客も多い。今後益々維持管理に気を配る必要があるが、持続可能な方法を検討しながら、皆から愛される首羅山として、保存、活用をしていく必要を感じる。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。



一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。

- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。



外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定

- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

外部評価

今後の方向性
<input checked="" type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	A
----	---

外部評価委員の意見

○評価
首羅山遺跡の保存・活用が計画どおり行われている。今後は、地域活性化の核となるため、更なる事業の発展を図ることが適当である。

○課題
観光・産業推進の核となる事業だが、町全体で進められていない。

○提案
・町内外への周知も積極的に行う必要がある。
・教育部門だけでなく、観光・商工など、他課と連携し、活用の方法を検討する必要がある。
・町民全体で関わることができる仕組みづくりを検討する必要がある。

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input checked="" type="checkbox"/> A重点化
<input type="checkbox"/> B現状のまま維持
<input type="checkbox"/> C見直し
<input type="checkbox"/> D廃止
<input type="checkbox"/> E事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	A
----	---

経営者会議の評価

町の貴重な歴史文化遺産である首羅山遺跡を、学校教育の教材として引き続き活用すると共に、多くの町民に活動する場や機会を提供することで、郷土への愛着や誇りの醸成につなげる。
更に、観光や産業振興など地域活性化の核のひとつとなるために、引き続き整備を行うと共に、その保存・活用方法についても、課の枠を越え検討する。

令和3年度予算要求事項(今後の取り組み)

○手段
・学校教育の教材として引き続き活用しながら、町民の活動の場や機会の提供を行う。
・観光や産業振興について、課の枠を超えて検討を行う。

○内容
・小学校6年生の総合的な学習「私たちの首羅山遺跡」を継続して行う。
・月に1回の登山会等を通して、町民のボランティア活動や、地域の活動の場を提供していく。
・町内外に広報活動を行う。
・遺跡の調査を継続して行い、新たな知見を発表できるようにする。
・遺跡の整備を継続して行い、利用者が安全に散策できるようにする。
・時代のニーズにあわせた観光や産業振興について関係機関との連携を密にしながら課の枠を越えて検討を行う。